



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 オリコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長

(氏名) 山口 幸作

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 2020年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,096	9.0	792	33.9	865	49.9	564	50.9
2019年3月期第3四半期	2,840	3.0	592	49.5	577	51.5	374	74.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 491百万円 (31.3%) 2019年3月期第3四半期 374百万円 (74.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	41.06	40.67
2019年3月期第3四半期	26.93	26.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	3,370	2,696	80.0	197.21
2019年3月期	3,510	2,650	75.5	190.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,695百万円 2019年3月期 2,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		12.00	12.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	円 銭
通期	723	25.1	52.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	15,123,200 株	2019年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,454,291 株	2019年3月期	1,220,303 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	13,755,910 株	2019年3月期3Q	13,902,899 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、引き続き緩やかに回復して推移する一方、米中間の通商問題や中東情勢の緊迫化など先行き不透明感が高まる世界経済の影響が懸念される状況となってきました。

国内の情報通信分野においては、株式会社サイバーエージェントの調査によると、インターネット広告における2019年の動画広告市場を前年比41%増と推計し、今後も高い水準での成長が見込まれるとの予測が出ています。一方、株式会社MM総研の発表では、2019年度上期(4月～9月)の携帯電話端末総出荷台数は前年同期比5.8%減、内訳ではフィーチャーフォンの8.3%増に対してスマートフォンが7.5%減の落ち込みとなりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間において当社グループの売上高は、コミュニケーション事業とデータサービス事業が前年同期を上回って推移しました。一方、モバイル事業および雑誌事業は前年同期に比べ減収となり、この結果、売上高は前年同期比256,128千円増(9.0%増)の3,096,382千円となりました。

費用面では、売上原価は前年同期比6,983千円減(0.6%減)、販売費及び一般管理費は人件費の増加などにより前年同期比62,620千円増(6.1%増)となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比200,491千円増(33.9%増)の792,627千円、経常利益は前年同期比288,100千円増(49.9%増)の865,712千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比190,395千円増(50.9%増)の564,788千円となりました。

なお、当第3四半期会計期間(10月～12月)における前年同期との比較では、売上高が2.3%増、営業利益が5.4%増となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下のとおりです。

① コミュニケーション事業

ニュースコンテンツの提供ならびにWEBサイトの制作・運営・広告販売等を行うコミュニケーション事業では、「顧客満足度(CS)調査事業」と「ニュース配信・PV事業」を展開しています。

顧客満足度(CS)調査事業の10月～12月は、一部のジャンルで景況感の停滞を受けて、商標利用契約・WEBプロモーションの収益の前年比増加率が一時的に縮小しましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で15.6%増加しました。商標利用契約・WEBプロモーション・データ販売の各ビジネスともに前年同期比で収益規模を拡大して推移しました。

ニュース配信・PV事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比で28.6%増加しました。AI支援ツールを活用して、記事コンテンツ・フォトギャラリー・動画コンテンツ等で最適なWEBサイト作りを進めた結果、基盤となるページビューは10月～12月の実績で前年同期と比べ約5割増となり、自社メディアの広告収入が伸長しました。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比353,535千円増(22.3%増)の1,937,387千円、セグメント利益は前年同期比313,445千円増(39.2%増)の1,113,456千円となりました。

②データサービス事業

音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」を中心に、当社グループが保有するエンタテインメント関連データを活用したビジネス展開を行っています。当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9,254千円増（1.9%増）の489,568千円となりました。セグメント利益は前年同期比821千円増（0.5%増）の159,433千円となりました。

③モバイル事業

市場縮小にともないフィーチャーフォン向け事業の売上高は前年同期比で18.1%減、スマートフォン向け事業の売上高は前年同期比で7.2%減となり、モバイル事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比73,546千円減（12.7%減）の506,988千円、セグメント利益は前年同期比53,227千円減（17.5%減）の251,770千円となりました。

④雑誌事業

エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「コンフィデンス」を発行しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比33,113千円減（16.9%減）の162,437千円となりました。セグメント利益は35,616千円減（73.2%減）の13,043千円となりました。

なお、「コンフィデンス」は2020年3月30日号（3月25日発送）をもって休刊いたします。詳細は、2019年11月28日に公表いたしました『エンタテインメントビジネス誌「コンフィデンス」の休刊に関するお知らせ』をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,370,145千円となり、前連結会計年度末と比べ139,953千円減少しました。データセンター移設にともない固定資産が増加した一方で、自己株式の取得、法人税や配当金の支払などによる現預金及び投資有価証券の減少によるものです。

負債合計は674,138千円となり、有利子負債の減少などにより前連結会計年度末と比べ185,498千円減少しました。純資産合計は2,696,006千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益564,788千円を計上し、配当金166,834千円の支払などにより、前連結会計年度末と比べ45,544千円増加しました。

これにより自己資本比率については80.0%となり、前連結会計年度末と比べ4.5ポイントの上昇、前第3四半期連結会計期間末と比べ3.2ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913,907	1,808,814
受取手形及び売掛金	548,316	505,985
商品及び製品	5,689	4,786
仕掛品	5,711	4,492
その他	176,382	221,440
貸倒引当金	△489	△496
流動資産合計	2,649,517	2,545,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,962	25,453
工具、器具及び備品(純額)	101,720	153,893
土地	1,973	1,973
有形固定資産合計	128,656	181,320
無形固定資産		
ソフトウェア	135,142	152,986
その他	3,209	17,519
無形固定資産合計	138,352	170,506
投資その他の資産		
投資有価証券	133,510	9,862
その他	467,305	471,119
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△3,428	△3,384
投資その他の資産合計	592,487	472,698
固定資産合計	859,496	824,524
繰延資産	1,086	597
資産合計	3,510,099	3,370,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,515	21,968
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	10,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	196,909	129,608
その他	417,211	372,562
流動負債合計	819,637	674,138
固定負債		
社債	40,000	—
固定負債合計	40,000	—
負債合計	859,637	674,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
利益剰余金	1,834,412	2,232,057
自己株式	△350,068	△629,010
株主資本合計	2,576,794	2,695,497
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	73,302	152
その他の包括利益累計額合計	73,302	152
新株予約権	365	356
純資産合計	2,650,462	2,696,006
負債純資産合計	3,510,099	3,370,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,840,253	3,096,382
売上原価	1,217,321	1,210,337
売上総利益	1,622,932	1,886,044
販売費及び一般管理費	1,030,796	1,093,417
営業利益	592,135	792,627
営業外収益		
受取利息	117	94
受取配当金	207	298
投資事業組合運用益	—	84,673
その他	2,472	1,937
営業外収益合計	2,797	87,004
営業外費用		
支払利息	2,655	1,343
株式関連費	12,709	10,384
支払手数料	1,410	1,693
その他	545	497
営業外費用合計	17,321	13,919
経常利益	577,611	865,712
特別利益		
新株予約権戻入益	55	—
特別利益合計	55	—
特別損失		
固定資産除却損	150	2,010
投資有価証券評価損	6,769	—
特別損失合計	6,920	2,010
税金等調整前四半期純利益	570,746	863,702
法人税、住民税及び事業税	156,883	261,883
法人税等調整額	39,469	37,030
法人税等合計	196,353	298,913
四半期純利益	374,393	564,788
親会社株主に帰属する四半期純利益	374,393	564,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	374,393	564,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△73,149
その他の包括利益合計	—	△73,149
四半期包括利益	374,393	491,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,393	491,638
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式242,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が281,809千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が629,010千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,583,852	480,314	580,535	195,551	2,840,253	—	2,840,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,000	—	—	—	63,000	—	63,000
計	1,646,852	480,314	580,535	195,551	2,903,253	—	2,903,253
セグメント利益	800,011	158,612	304,997	48,659	1,312,280	—	1,312,280

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,312,280
セグメント間取引消去	145
全社費用(注)	△720,289
四半期連結損益計算書の営業利益	592,135

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,937,387	489,568	506,988	162,437	3,096,382	—	3,096,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,000	—	—	—	63,000	—	63,000
計	2,000,387	489,568	506,988	162,437	3,159,382	—	3,159,382
セグメント利益	1,113,456	159,433	251,770	13,043	1,537,704	—	1,537,704

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,537,704
セグメント間取引消去	47
全社費用(注)	△745,123
四半期連結損益計算書の営業利益	792,627

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。